

第36回安芸タートルマラソン全国大会

右城 猛

12月12日に安芸市で「第36回安芸タートルマラソン全国大会」があった。毎年12月の第二日曜日に開催されている。5kmと10kmの部があり、出場資格は、男性が40歳以上、女性は30歳以上。

「マイペース」というチームを結成している兼清夫妻と一緒に10kmの部に参加した。私たち夫婦は初参加であったので、「志」の文字が入った内原野焼きの夫婦湯飲みを記念品として戴いた。

今年の参加者は950名。最高齢者は岡山県の97歳の男性。県内の最高齢は安芸市の男性で94歳。35回連続出場者は3名いた。本当に驚きである。

老齢年金を受給できる年齢に達し、老人の部類に入り気が滅入っていたのであるが、このような人達に接すると、まだまだ若造じゃないかという気にさせてもらえる。

参加者代表宣言は、鳴門市から35回連続出場されている坂田弥寿夫氏(77)が行った。



大会には、衆議院議員の中谷元先生(53)も参加されていた。私が出場する高知県内のマラソンでは、いつも中谷元さんにお会いする。



9時20分より安芸市民体育館で県外参加者歓迎式と開会式。本大会の岡田正会長(72)より開会の挨拶、松本憲治安芸市長から歓迎の挨拶があった。



スタート8分前。スタートを待つ兼清夫妻。



4.5km地点にある折り返し点を余裕の走りで折

り返した家内。私よりも 300m ほど前方を走っている。中谷元さんは家内よりもさらに 500m ほど先を走っており、私とすれ違う際にファイトと声をかけて下さった。



野良時計の駐車場では、弥太郎太鼓による応援があった。



野良時計の前では、たくさんの地元の方から声援をいただいた。スーツにネクタイ姿でカメラを構えている男性は、中谷元さんの秘書をされている長野さん。



仲良く一緒に走る安芸百走会の寺岡浅市さん(79)と奥様の愛子さん(78)。



ここがゴール。靴にチップを取り付けているのでゴールするとタイムが自動的に正確に計測される。

マイペースのメンバーのタイムは、兼清芳子さん(55)が1時間3分39秒、右城絹枝さん(59)が1時間6分36秒、兼清英則さん(59)が1時間6分59秒、そして私(60)は1時間10分33秒。ちなみに中谷元さん(53)は1時間2分。

10km 男子の部で 383 人が走っている。その中に 60 歳代は 117 人いる。私の順位は、男子の部では 333 位、60 歳代の中では 106 位であった。

この大会の案内には、「亀(タートル)のようにマイペースで完走することを目的としている」と紹介されていた。高齢者が亀のようにノロノロ走るマラソンをイメージしていたが、全くの勘違いであった。

昨年の「坊ちゃん一緒にらんラン RUN」のタイムは、家内が1時間9分31秒、私が1時間15分4秒であったので、二人とも、少しではあるが進歩している。

何もしなければ歳と共に体力が衰え、タイムは落ちてゆく。亀のようであったとしても、まだまだ進歩することを信じて、練習を継続することにしよう。

(2010年12月12日・記)